

15 番		池田 信子 議員	
項目	1. 令和2年度 予算編成と基本方針について	項目	
<p>(要旨)</p> <p>(1) 経済動向と財政運営について</p> <p>① 近年の経済動向について、国や県の将来展望をどう分析し、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>② 国の税制改正について、どう本市の財政運営に影響するのか。</p> <p>③ 財政運営について、今後の人口動態をどう分析し、どのような財政運営をしていくのか伺う。</p> <p>④ 今後の財政運営について、緊張感を持ち最も懸念される所はどこか。</p> <p>⑤ 公共施設等総合管理計画について、公共施設等の老朽化するインフラ整備、施設整備等の各事業の財源として、市債の借り入れ、公共施設等整備基金からの取り崩し等、今後、こうした状況はどの程度続くのか。将来負担を鑑み、財政運営の基盤を持続可能としていけるのか。</p>		<p>⑥ 国からの交付金や県からの補助金について、新規補助事業等への積極的な働きかけも重要と考える。どのように獲得し、どう財政運営に反映させていくのか伺う。</p> <p>⑦ 地方創生第2期について「地方創生推進交付金」を活用した事業に期待している。地方創生の第2期の意気込みを伺う。</p> <p>⑧ 予算編成について、新しい時代、未来に向けた取組みに重点を置いたとある。次の10年への大事な新年度の予算編成である。わかりやすく一言でいうと、何予算と考えるのか。</p>	

15 番		池田 信子 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>(2) 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」の実現について（予算：約19億5千万円）</p> <p>① 政策1「地域産業の振興と人材の活躍促進」について、これまで以上の新しい戦略があると考えていいのか。見解を伺う。</p> <p>② 政策2「年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくりについて、ロジックモデルで評価・検証されているのか。「まちづくりは人づくり」との市長の目指す未来への投資と考えていいのか。見解を伺う。</p> <p>③ 若年者雇用対策について、バブル崩壊後の不況期で就職難だった「就職氷河期世代」への就職支援について、見解を伺う。</p> <p>④ 中高年の引きこもりについて、8050問題等、社会全体で取り組んでいくべき課題と考える。見解を伺う。</p>		<p>⑤ 女性・高齢者雇用対策について、短時間勤務や都合に応じ休日が取得できる求人企業の開拓や就職面接会の開催等、子育て女性の再就職対策・高齢者雇用対策をどう認識しているのか。今後の見解を伺う。</p> <p>⑥ 政策3「地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開」について、観光まちづくりを推進するため「新せと・まるっとミュージアム推進プラン」を策定することだがこれまでと異なる点を確認する。また、同様のネーミングにした根拠を伺う。</p> <p>⑦ 政策5「市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備」について、陶生病院のバス路線のハブ化等、市内のみならず近隣市との広域連携のハブ化・交通系ICの導入等、持続可能な公共交通の維持・活性化の今後の将来展望について伺う。</p>	

15 番		池田 信子 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>③ 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」の実現について（予算：約100億円）</p> <p>① 政策1「ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育て支援」について、特に児童の健全育成と、保護者の仕事・子育ての両立支援を目的とした放課後児童クラブについて、今後、全市的にどのように展開していくのか。方向性を伺う。</p> <p>② 保育の質の向上について、昨年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、保育の質の低下や保育士不足等の課題も指摘されている。保育の質を高めるために「処遇改善」も必要と考える。今後の方向性を伺う。</p> <p>③ 教育費負担軽減について、幼児教育に加え、本年4月からは、「私立高校授業料の実質無償化」「高等教育の無償化」が実現。国からの補助が加わったことで、自治体において、さらなる拡充に向けた環境も整った。子ども3人以上の多子世帯への支援や中間所得世帯の負担に配慮した拡充等、子育て支援の一環と考えるがどうか。見解を伺う。</p>		<p>④ 政策2「瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」について、国の構想である「GIGAスクール構想」の実現に向け、「学校ICT環境の整備計画」を策定していくとある。この事業に対する意気込みを伺う。</p> <p>⑤ 本年4月から本格的に始動する、市内全域での小中一貫教育について、教育創造基金を活用した「地域とともにある学校づくり」「グローバル教育」の推進に取り組む事業を新設していくとある。事業に対する想いを伺う。</p> <p>⑥ 政策5「都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承」について、コンパクトシティの推進について、「立地適正化計画」を策定するとある。具体的な理念と方向性を伺う。</p> <p>⑦ 高齢者の移動手段について、高齢者の移動手段を確保しつつ、高齢者ドライバーの事故を防ぐ対策にサポカー（安全運転サポート車）の普及がある。昨年末の国の補正予算に「サポカー補助金」が盛り込まれた。今後、対象高齢者への啓発や市としても補助金制度等への見解を伺う。</p>	

15 番		池田 信子 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>(4) 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」の実現について（予算：約42億1千万円）</p> <p>① 政策1「誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり」について、指導員の養成や対象者への保健指導の拡充実施に取り組んでいくとしているが、どう拡充していくのか。方向性を伺う。</p> <p>② 政策2「高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくり」について、新たに陶生病院との連携した地域リハビリテーション活動の事業に至った経緯と今後の効果をどう分析するのか伺う。</p> <p>③ 政策3「誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」について、菱野団地ではエリアマネジメント団体の活動拠点を整備していくとしている。今後、こうした取り組みは増えていくと考えていいのか。見解を伺う。</p>		<p>④ 地域福祉に関わる政策について「瀬戸市地域福祉計画」に基づき、時代ニーズに対応できるよう努めていくとある。ニーズ把握の方法も含め、どのような事業を想定しているのか伺う。市の方針を伺う。</p> <p>⑤ バリアフリーについて、ハード面では、災害時に避難所となる学校施設等や、福祉避難所の整備が急務である。また、ソフト面では、視覚や聴覚等に障がいのある人のコミュニケーション手段の確保や相談体制等の課題がある。市の方針を伺う。</p> <p>⑥ 共生社会の実現と障がい者支援について、障がい者が情報を取得したり多様なコミュニケーション手段を利用しやすい環境整備に向けた条例の制定も各地で進んでいる。持続可能な障がい者支援と共生社会について、市の方針を伺う。</p> <p>⑦ 政策4「地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり」について、地域防災を担う人材育成と、災害を「わがこと」として当事者意識を市民の一人一人が持つことが災害に強い社会の構築の土台となると考える。防災人材の育成について、市の方針を伺う。</p>	

15 番		池田 信子 議員	
項目		項目	
(要旨)		(5) その他事業及び行政改革・行政サービスについて	
⑧ 災害対策について、着実な備えは、基礎自治体としての責務である。中でも、災害廃棄物処理計画策定・ハザードマップ（災害予測地図）の市民への周知・避難情報の発令と伝達・避難所の適正配置・災害弱者の個別避難計画策定等、災害対応力の強化が必要と考える。進捗状況を伺う。		① 歳入強化について、現状は、ふるさと納税額を原資とする事業の推進では、昨年度も厳しい状態である。秘策はあるのか。	
⑨ 女性の視点を生かす防災対策について、防災対策に「女性の視点を生かす」ことは、子どもや高齢者、障がい者等「災害弱者の視点を生かす」ことにも繋がると考える。避難所における現場でも着実に実行できるよう、防災計画等へ女性の視点は反映されているのか。		② 行政サービスについて、民間活力の導入を検討しているが、市民サービスに経費削減、市民サービス水準の維持等、どのような効果が期待できるのか。見解を伺う。	
⑩ 広域的な防災拠点について、2020年度「防災道の駅」を選ぶ認定制度が創設される。ヘリポート整備や非常電源設置等の整備を国が交付金で支援する。こうした国の動向をどう認識しているのか。		③ AI を活用した総合案内サービスについて、今後の市民サービス及び業務の効率化として、どう認識しているのか。見解を伺う。	
⑪ 新型コロナウイルス予防対策について、職員が罹患した場合のマニュアル、来庁者への対応マニュアル等の全庁的な危機管理体制及び環境整備は構築できているのか。また、行政サービス業務を鑑み、テレワーク等の働き方もできるところから導入していくべきと考えるがどうか。見解を伺う。		④ 地方創生の新たな潮流となる Society(ソサエティ)5・0の推進について、中でも、地域の課題解決策として期待される「ローカル5G」についてどう認識しているのか。見解を伺う。	
		⑤ 水道事業について、今後の方針を伺う。	
		⑥ 地域経済活性化について、民間活力の導入と、リニアインパクト、ジブリパーク整備構想が、地域産業のビジネス機会の創出・拡大につながり、本市のまちづくりへの追い風としていくとあったが、具体的にどう結びついていくのか。	

15番	池田 信子 議員			
項目	2. 瀬戸市の将来像について		項目	
<p>(要旨)</p> <p>(1) 地球温暖化対策について</p> <p>① 温暖化防止対策について、30年後の2050年までにCO2排出実質ゼロを表明する自治体も増えている。どのような認識をしているのか。本市も積極的に表明していくべきではないか。</p> <p>② 温暖化対策を進める取組みについて、再生可能エネルギーの主力電源化としたリチウムイオン電池や同電池を搭載した電気自動車の普及が切り札となるとの認識もある。どのような認識か伺う。</p> <p>(2) SDGs 未来都市について</p> <p>① 持続可能な開発目標（SDGs）行動の10年について、地方自治体や民間企業等の多様な担い手が一体となった取り組みが重要であるとする。こうした動向に対し、どのような意識なのか。</p> <p>② SDGs 未来都市について、愛知県がSDGs 未来都市計画を策定し推進フェアの開催や中学生向け冊子の作成やWeb ページを作成した。未来都市宣言等、どのような目標に向かって、どう挑戦していくのか伺う。</p>			<p>(3) 市制施行100周年に向けてのビジョンについて</p> <p>① 市制施行100周年までの10年。都市としての持続的な発展に繋がる大事な10年である。2030年への瀬戸市のビジョンについて伺う。</p>	